



# まるやま

## みんなかがやく

自分力：みがこう！じぶん 関係力：ふかめよう！つながり 創造力：つくろう！あした

新潟市立丸山小学校

学校だより 10号

令和6年11月22日

### 子どもが輝く！丸モリフェスタ

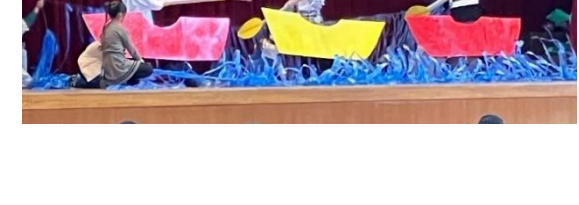
校長 福原 清訓

教育目標の具現化を図るために、学校全体で行う活動「きらきらプロジェクト」の1つとして、今年度から「子どもがつくる『丸モリフェスタ』」をスタートさせました。新たなプロジェクトでしたので、年度当初から担当職員と相談し、5月には既に実施計画を作成しました。そこから、キャラクターを募集したり、出場チームを募ったり、運営する子どもの役割や動きも担当職員が考え、ようやく当日を迎えることができました。

このプロジェクトを掲げたのは、「子どもが主体的に自分らしさを発揮してほしい」「多くの人前で子どもが活躍する場を創りたい」「全校みんなで楽しむイベントを創りたい」という願いからです。私は当初、「出演したい！」という子どもたちだけでイベントを構成すればよいと考えていました。ですが、担当職員から「参観なので、どの子もステージに立たせたい」という考えが出され、学年発表も行うことになりました。ただ、「やらされる発表」では意味がないので、「子どもの主体性を生かして、子どもが創るパフォーマンスにしてほしい」と伝えてきました。子どもたちにも、全校集会で出場を促したり、みんなで楽しもうと伝えたりしてきました。運営では、学年とフリーグループの発表を交互に入れて休憩を確保したり、気持ちよく鑑賞してもらえるように保護者が譲り合って鑑賞できるようにしたりしました。

そして、当日。素晴らしい子どもたちのパフォーマンスに魅了されました。楽しい！かわいい！ステキ！カッコイイ！が、たくさん詰まっていました。子どもたちは、パフォーマンスをよりよい発表にしようと自主的に練習を重ねてきました。その思いと成果が、真っ直ぐに伝わってきました。改めて、子どものエネルギーや個性の素晴らしさを感じて本当に感動しました。全校児童、全職員で楽しいイベントをつくることができました。みんなに感謝！感謝！です。

また「みんな かがやく」学校に一步近づいた感じがしています。子どもがつくる第2弾の「若竹祭」が、今月末に予定されています。どんな楽しいアイデアで、どんなブースがつけられるのか、とてもワクワクしています！







楽しかったね！ステキなパフォーマンス、ありがとう！



### ✨きらきらスナップ✨



**1年 虫歯予防教室 10/24**  
虫歯を予防するための歯磨きについて  
歯科衛生士さんから教えてもらいました。



**避難訓練 10/25**  
不審者が侵入した想定で  
対応について訓練しました。



**5年 就学時健康診断 10/29**  
新1年生の健康診断を  
5年生が、サポートしてくれました。



**4年校外学習 郷土資料館 10/29**  
亀田郷の歴史や昔の生活について  
地域の方から教えていただきました。



**1・2年校外学習 いくとびあ 11/1**  
いくとびあを見学したり、  
動物とふれあったりしてきました。



**大江山中学校区三校交流会 11/14**  
三校の特別支援学級の子どもたちが集まり、  
ビンゴ大会などで交流を深めました。

＜体育着の指定について＞  
学校だより4号で「学校のあたり前を見直す」として、  
提案した「体育着を指定しない」ことについては、10月  
30日付の「コミュニティ・スクール通信」で既にお知らせ  
したとおり、第2回学校運営協議会で検討した結果、  
今後も検討を重ねていくことになりました。ついては、  
現状の体育着の指定で教育活動を進めていきますので、  
ご理解ください。子どもたちや保護者の皆様からの意見  
をさらに丁寧に聞くなどして検討を進めていきますので、  
ご意見等があればお聞かせください。ご理解とご協  
力をよろしくお願いいたします。

## <丸モリフェスタ 保護者アンケートより>

「丸モリフェスタ」のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。回答数は101件で、今までで一番多くの方からご意見をいただきました。たくさんご意見をいただいたので全ては掲載できませんが、○肯定的な意見と▲改善点に分け、類似した意見をまとめて示しました。前述したとおり、このイベントは、「みんな かがやく」の教育目標の具現化を図り、子ども一人ひとりの個性や主体性を大切に、自分から進んで人前でパフォーマンスをすることをねらいとしています。そのねらいに沿って、いただいたご意見を考慮し、来年度更に素敵なイベントになるように検討していきます。

### 1 丸モリフェスタの子どもたちの姿は…

肯定的な評価が99%で、特に「とても良かった」が78.2%と運動会を上回る評価でした。ステキなパフォーマンスを見せてくれた子どもたちに大きな拍手を送りたいですね。

○生き生きしていた、輝いていた、楽しそうだった、かわいかった、かっこよかった、一生懸命だった、堂々としていた など

○子どもたち一人ひとりに才能があると感じた。

○鑑賞している子どもも手拍子などで盛り上げているところが素晴らしかった。

○学年ごとのよさが出ていた。

○自主的に自分を表現する姿が素晴らしい。

○練習の成果を十分発揮していた。

○自信につながる良い経験だ。

○練習も当日も楽しく取り組んでいた。

○特技を学年の隔たりなく発表し、発表する子どもも鑑賞する子どもも自己肯定感が上がり、決められた枠組みだけでなく自身で発信する力を感じた。

○保護者として、大変見応えがあって満足感でいっぱいだ。

○人前で発表する機会はなかなか得がたい経験。

○様子や表情からみんな楽しんでいて、子どもたちのパワーを感じた。

▲あまり楽しくなさそうな子どもがいて、みんなが楽しめる内容ではなかったと感じた。

### 2 丸モリフェスタの内容について…

肯定的な評価が、93.1%でした。多くの方から好評価をいただきましたが、「あまり良くなかった」という評価も6.9%ありました。内容についての意見を確認して、よりよい実施を検討していきます。

○子どものやりたいことが尊重されていた。

○子どもの成長が見られた。

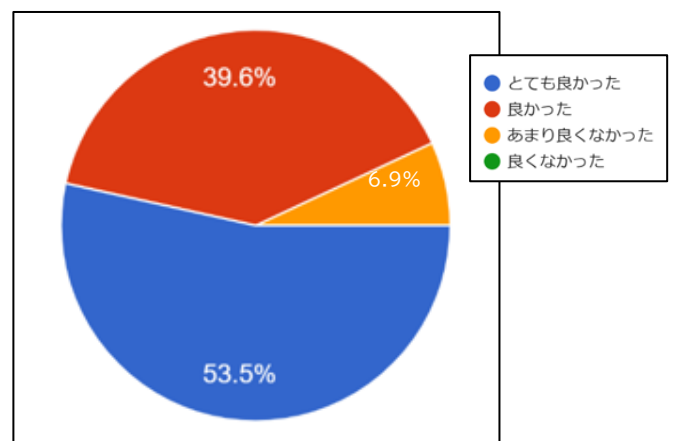
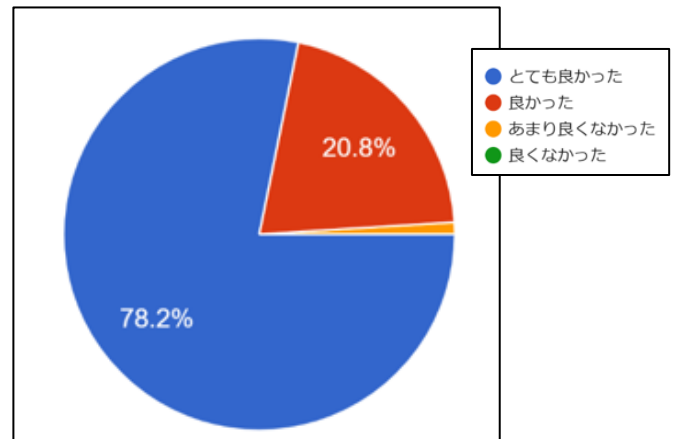
○自由に自己表現できる場なので、子どもたちの表現力が拡大する。

○スムーズにスケジュールが進んだ。

○ダンスや歌などいろいろあって良かった。

○見ていてとても楽しかった。

○学年発表もグループ発表もあってよかった。





- 普段見られない姿が見られて良かった。
- 子どもたちの個性が感じられた。
- ▲演劇の声があまり聞こえなくて、残念。
- ▲合奏がもっとあると良い。
- ▲学年発表以外はあまり感動しなかった。
- ▲あっという間に終わって、見応えがなかった。
- ▲ダンスが多すぎて、後半は学年発表だけでよかった。
- ▲フリーグループの発表は、学校行事としてふさわしくない。学習と関連がない。
- ▲やる子やらない子がいて、フリーグループが多すぎる。もっとみんなの活躍の場があるとよい。
- ▲自分の子どもの出番が少ない。

### 3 その他、良かったと感じられたこと

- 鑑賞するときの、発表児童保護者優先スペースや撮影優先スペースがあってよかった。入口・出口などわかりやすく、入れ替わりもスムーズだった。
- 発表する場、チャレンジの場があることに感謝。自己表現する経験が財産になる。
- スムーズな進行が良かった。
- 行事を通して、主体性や責任感、他者を考える気持ち等が育まれている。
- 得意なことをしている子どもたちの姿はきらきらしていて感動した。
- 上学年の子どもたちのダンスは見応えがあり、能力や態度が素晴らしかった。
- 準備や練習は大変だったと思うが、楽しそうな表情がたくさん見られて、楽しかった。
- 時間と内容がちょうど良かった。
- 6年生の学年ダンスがかっこよかった。
- 新しい行事が増えるのはとてもよい。
- 是非来年度もやってほしい。
- 個性をみんなの前で披露し、活躍できる場があって素晴らしいイベント。

### 4 来年度に向けての改善点

- ずっと続けてほしい。子どもたちのために、是非来年度も実施してほしい。
- 改善点は特にない。来年も楽しみ。
- ▲プログラムが表になって、演目や曲も示されると良い。学年発表の内容も示してほしい。
- ▲保護者の話し声が多く、子どもの声が聞きづらかった。移動のルールを守らない保護者がいた。
- ▲イベントの趣旨がわからなかった。学校行事なら全員平等に出してほしい。
- ▲椅子の席も設けてほしい。
- ▲学年発表の他にクラス発表もあると良い。
- ▲女子が多く、男子も頑張ってもらいたい。
- ▲作品展が同時にあると良い。教室で作品展示などをすれば、観客が分散する。
- ▲声が聞こえにくい、音楽がうるさい、など、音響を考慮してほしい。
- ▲ダンスが多すぎる。他の発表も見たい。発表の選択肢を拡げてほしい。
- ▲平日にやってほしい。
- ▲フリーグループは、大江山の祭典に出ればよい。学校は学習の発表の場にする。
- ▲先生方のパフォーマンスもあると子どもたちは喜ぶ。
- ▲工夫した点などの説明があるとわかりやすかった。

たくさんのご意見ありがとうございました。